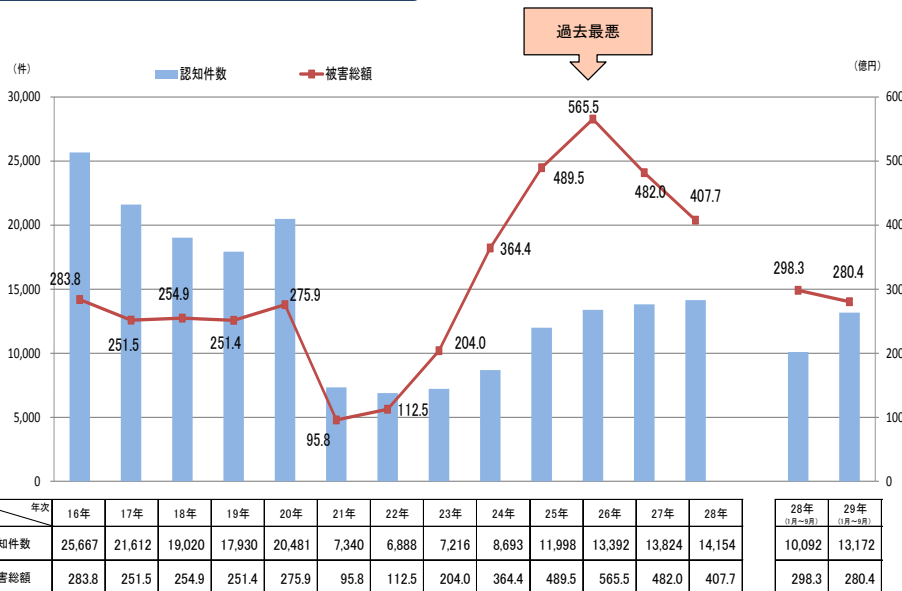


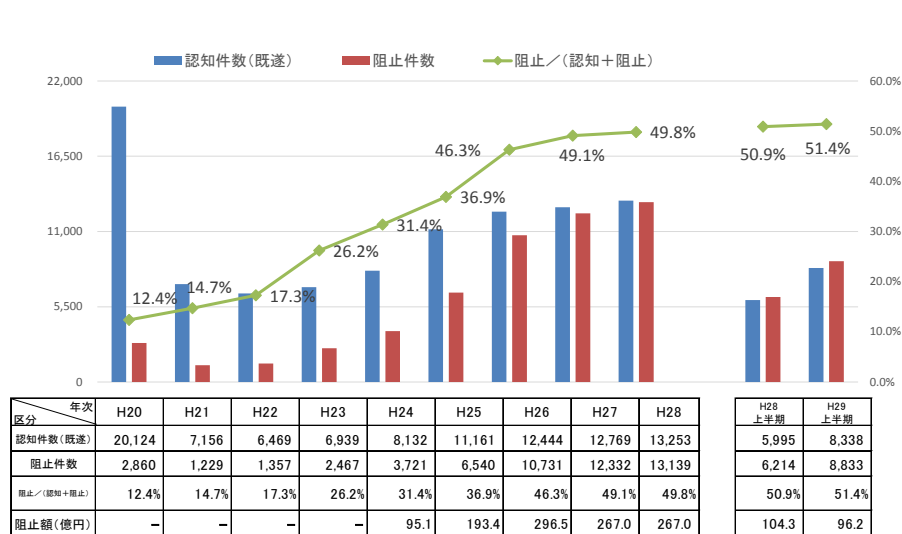
振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の現状と対策

特殊詐欺の認知状況



※1 振り込め詐欺以外の特殊詐欺は平成22年2月から集計
 ※2 平成29年の統計値は暫定値

特殊詐欺被害の阻止状況



特殊詐欺の検挙状況

| 区分 | 年次 | 16年 | 17年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 | 22年 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 | 28年 (1月～9月) | 29年 (1月～9月) |
|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|----------------|
| 検挙件数 | | 1,305 | 2,539 | 2,974 | 3,079 | 4,400 | 5,669 | 5,189 | 2,556 | 2,990 | 3,419 | 3,252 | 4,112 | 4,471 | 3,078 | 3,009 |
| 検挙人員 | | 548 | 819 | 761 | 454 | 699 | 955 | 686 | 923 | 1,523 | 1,774 | 1,985 | 2,506 | 2,369 | 1,496 | 1,648 |

※1 振り込め詐欺以外の特殊詐欺は平成23年1月から集計
 ※2 平成29年の統計値は暫定値

課題

- 被害者の約7割が**65歳以上の高齢者**である。
- 電子マネー型等の**特定の手口の被害**が急増している。
- 末端被疑者を中心に検挙しているが、**犯行グループ** **中枢への追及**が不十分である。
- **犯行に使用される各種電話への対策**を講じているが、対策の網をかいくぐる動きがみられる。

今後の取組

高齢者の被害防止対策の更なる浸透

多発する手口の被害防止に向けた更なる取組

犯行グループの壊滅に向けた更なる取組

犯行使用電話の無力化に向けた更なる取組